

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2017～2018 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「いま結束のとき！ 目指そう、新たなる境地!!」

ロータリー：
変化をもたらす

◆会長 中田 専太郎 ◆幹事 谷口 欣也 ◆会報委員長 大原 誠 ◆会報担当 熊崎 元康

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacro.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	会長支持率
本日 1174 回	56 名	56 名	44 名	—	78.57%
前々回 1172 回	56 名	56 名	43 名	2 名	80.36%

<点 鐘> 会長 中田 専太郎
<ロータリーソング> それでこそロータリー
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>

<本日のビジター>
大阪船場ロータリークラブ 甚田 隆康 様

バナー交換



でいただけるのだろうか？」「どのような感想を抱いていただけるのだろうか？」と不安な気持ちもあったのですが、そんな中で甚田様より頂いた励ましのお手紙は、皆様にも例会の場で朗読させていただきましたし、本当に元気づけられました。

甚田様は、幼少の 12 年間に高山の地で過ごされたということで、高山に対する望郷の念や思い入れも強くお持ちでした。

私も早速お礼のお手紙を出させて頂きましたが、その後、RC の皆様と高山の方へ旅行でいらっしゃったのですが、その時には、何らおもてなしもできませんで、本当に失礼致しました。

お返事をさせて頂きました中に、一度中央 RC へお越しく下さいとお願いしておりましたところ、このようにバナーを携えて来て下さいましたこと、またまた大感激でございます。

甚田様には、どうか今後ともよろしくお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

<幹事報告> 幹事 谷口 欣也

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

○米山記念奨学会より

・ハイライトよねやま 219

○高山西ロータリークラブより

・休会のお知らせ

6 月 29 日 (金) 定款により

<高山市青少年育成市民会議より>

・「青少年の非行・被害防止全国強調月間」における

街頭啓発活動の出役の依頼

<高山市民憲章推進協議会より>

・乗鞍岳の自然環境保全事業開催のご案内

(乗鞍岳外来植物除去作業ボランティア募集)

*興味のある方はお申し込みください

<会長の時間> 会長 中田 専太郎

皆さんこんにちは。

本年度の例会も本日を含めて後 2 回を残すのみとなりました。どうか最後までよろしくお願い致します。

さて、先ほどもご紹介をさせて頂きましたが、本日は大阪・船場 RC クラブより、甚田様にお越しいただいております。

本日の朝、ご地元の大阪で起きた地震の方は大丈夫だったのでしょうか？被害がないことをお祈り申し上げます。

思い返しますと、本年度の当初に我が高山中央 RC の紹介記事が、『ロータリーの友 7 月号』に大きく掲載されました。

その時は、嬉しいのと同時に「果たして皆様に記事を読ん



<米山記念奨学生スピーチ> レバンチ 様

自己紹介・家族のこと

私はベトナムのダナン出身です。ダナン市はベトナムの一番暮らしやすいところと言われています。山と海に囲まれていて、街の中にも川も流れています。この川にはきれいな橋がいっぱいかかっています。夜に川に沿って歩いたりすると、とてもロマンティックな景色が見えます。観光地がたくさんありますから、ぜひ皆さんダナンに旅行や遊びに来て下さい。



私の家族は、現在ダナンに住んでいます。私を含めて 6 人家族です。両親と 3 人の兄弟がいます。私は上から 2 番目で、兄は一歳年上、弟は一人が高校生、もう一人が中学生です。



日本へ来た理由

なぜ留学先に日本を選んだかという、日本は世界で科学技術が 1 番であり、教育のレベルが高く評価されているからです。また、日本は勉強にいい環境にあり、実験を通して技能が向上し、実践で習得したことをスムーズに応用で活かすことが出来ます。途上国で実験施設が足りないベトナムには、こんなチャンスがあまり多くありません。母国の大学に入学し、日本に留学する夢を実現するために、留学プログラムに申し込みました。2 年間一生懸命日本語と専門科目を勉強しました。結果として留学試験に合格し、岐阜大学に編入しました。

大学での研究内容

私は、今年度から先端材料・構造研究室に所属し、繊維補強コンクリート (FRC) の耐久性について研究しています。FRC は、一般に長さ 10~30mm 程度の不連続の短い繊維をコンクリート中に均一に分散させることによって、ひび割れに対する抵抗性、靱性、引張強度などを大幅に改善した複合材料です。FRC では、ひび割れ発生後も短繊維がひび割れ間を架橋するため、繊維の混和は剝落防止の効果やひび割れ幅低減による構造物の耐久性向上にもつながるとされています。本研究では、FRC の適用の高度化を目指し、ひび割れ発生後の FRC における力学挙動や耐久性を明らかにすることを目的に、研究を行っています。

感謝の気持ち

この度ロータリー米山奨学生として選んでいただき、本当にありがとうございました。去年、日本に来て留学生となり、自分の日々の生活は親に負担をかけず、自ら稼いだお金で過ごしていきたいと考えました。食費や交通費、書籍代などの生活費を稼ぐためにアルバイトに多くの時間を割き、貴重な大学生生活の時間を消費してしまいます。奨学金を頂き、金銭的な余裕と共に、アルバイトの時間的負担が軽減されたことで、研究にもっと力を入れることができ、大学生生活の時間を有意義に過ごすことが出来ました。奨学金は経済的に大きな支えを得るだけでなく、精神的にも大きな励みになります。奨学生として選んで頂いたことで、母国の両親も大変喜んでくれましたし、これまでの努力が報われたようで、本当にうれしく思うとともに、ロータリー米山奨学会の皆様には心から感謝しております。

卒業後、社会に出てからもこの感謝の気持ちを忘れず、社会に恩返ししたいと考えています。



<クラブアッセンブリー>

クラブ奉仕委員長 統括理事 坂之上 健一

基本方針は、クラブ奉仕委員会は「親睦活動委員会、友好クラブ交流、会報、出席/プログラム、広報/雑誌/IT、ニコニコ、ロータリー情報の各委員会が円滑に運営できるようにサポートすること」と、「7 委員会と共にロータリークラブを広く知ってもらう為の活動を行う」と言うことで、8 月 1 日に、ポリオ撲滅キャンペーンを本町の夏祭りの時に、クラブの納涼浴衣例会で行いました。その時は、ロータリー財団、会員増強の委員長さん 2 名にも手伝ってもらい、合計 9 名の委員長さんに、準備から後片付けまで協力を頂きました。また、会員の皆さまには例会後、本町の会場まで来て頂き募金をして頂きました、お陰様で 135,697 円を募金で集めることが出来、それをポリオ撲滅の為の寄付をすることができました。また、RI 会長賞受賞項目の「ロータリー公共イメージと認知度の向上」ということで活動をしてきました。一年間本当に有難うございました。



会員基盤維持増強委員長

津田 久嗣

前会の例会で大保木委員長からもお話があったと思いますが、会員増強については、ままならぬ状況で終わってしまいました。もう少しメンバーを増やしたかったのですが、何をすることもなく終わって申し訳なく思っています。

来年の担当の方には、私の様でなく頑張っていただけだと思います。坐骨神経痛で体も思うように動かないまま、一年終わることを本当に申し訳なく思っています。申し訳ありませんでした。



ニコニコ委員長

周 信夫

委員長と内田、劔田、鶯塚さんの 4 名で 3 か月ずつ分担し司会を担当しました。

目標金額の 70 万円に到達せず 60 万円を下回る結果になってしまいました。

ニコニコ資金はクラブ活動運営に必要なものです。一か月に一度くらいは楽しい事はあると思います。と言う事は 1 年に 12 回くらいは色々な報告ができると思います。

メンバー全員がこの気持ちを持って次年度は 70 万円を超える事を希望します。



ロータリー情報委員長**足立 常孝**

担当例会は 2 回でした。

11 月 13 日は、今年度は 9 名もの方が地区に出向して頂いているので、活動について報告して頂きました。剣田さん・前越さん・伊藤さん・村瀬さん・下田さん・益田さん・清水さん・平林さん・三枝さん、スピーチありがとうございました。3 月 5 日は、入会 2 年以内の会員さんに 5 分間スピーチを自由テーマでして頂きました。阿部さん・直井さん・益田さん・小出さん、ありがとうございました。IDM を開催できなかったことが残念でした。次年度は、IDM を 4 回以上開催されると次期会長は張り切って見えます。今年度分もよろしくお祈りします。

**高山中央未来委員長****長瀬 栄二郎**

委員長：長瀬栄二郎

副委員長：清水幸平

委員：中田学・中田専太郎・
谷口欣也・高原清人・
岩本正樹



「職業奉仕に徹すること」を高山中央 RC は長期戦略・計画目的とし、CLP を導入して活動してきました。

高山中央未来委員会では、中長期的な視点で活動内容を検討し、理事会へ提案するという役割を担わせていただきました。

規定審議会の決定により、会員身分と例会開催の柔軟な運用が認められたなか、高山中央未来委員会では不定期に委員会を開催し、会員増強や例会プログラムの充実にもつながるよう、柔軟なクラブ運営について検討し、年度に縛られない継続的の事業についても検討してまいりました。

今年度は 2 回の担当例会をいただきました。

①平成 30 年 2 月 26 日

IM にて、中田会長が 10 年後のクラブイメージを発表されることになり、10 年後の高山中央 RC について、発表予定の内容をお話いただきました。

②平成 30 年 5 月 7 日

多年度に渡るクラブ活動の方向性について、会員の皆さまよりご意見を頂戴すべく、テーブルディスカッションを実施していただきました。「青少年育成事業にこれからも注力すべき」というご意見を多くいただき、「グローバル補助金へも期間を決めて再挑戦」といったご意見をいただきました。

貴重なご意見をいただきましたので、こちらは次年度にお引き継ぎさせていただきたいと考えております。

以上、一年間、誠にありがとうございました。

社会奉仕委員長**井ノ下 雄志**

委員長をさせていただきました井ノ下です。副委員長に前委員長の和田さん、委員に仲谷さんと新宮さん、そして統括理事に山本さんと幹事の谷口さんに支えて頂き社会奉仕委員会活動をさせていただきました。



活動内容としまして 2 回の例会を行いました。

平成 29 年 12 月 11 日に、会員の熊崎さんにご紹介頂きました「NPO 法人さんしょうの会きららの家設立委員会」の道添健太郎さんから卓話をして頂きました。重度の障がい児はご家族の支援を受けられなくなると県外で暮らさなければならぬ実状、その為の「きららの家」建築寄付の

お願いに賛同して下さった会員皆様から多くの寄付と、施設で作ったパンの販売購入のご協力もして頂き、皆様に感謝致します。

2 つ目の担当例会 4 月 9 日には、「認知症」について「公益社団法人 認知症の人と家族の会」岐阜支部副代表世話人の高井道子さんに卓話をして頂きました。

認知症とは？の基本から現状の取り組み、認知症の方への対応の仕方、症状を理解して温かく支えていく事の重要性を伺うことが出来ました。

また例会の他に、飛騨慈光会後援会のロータリー枠の出向委員として、数回の運営委員会議に参加させて頂きました。そこでは研修部と広報部に所属し、「後援会だより」広報誌発行に携わせて頂きました。同時に各福祉施設の現状も垣間見ることが出来て、普通であることの有り難さを改めて考えさせられました。

この 1 年間を通して自分達ができる社会奉仕支援についての情報を共有すること、そして学ぶ機会を私自身が一番多く頂きました。社会奉仕委員長をさせて頂き、誠にありがとうございました。

環境保全委員長**都竹 太志**

委員長：都竹太志

副委員長：直井泰司

委員：黒地重雄（退会）

今年度の事業回数は 2 回で活動計画を

立てておりましたが、急遽 1 回に減らされました。かと思えば、4 月中旬に急遽植樹の話を振られました。余りにも急なため、返事を渋りましたら、「計画は立ててあるからやらなくても良いよ」という事で 1 回の活動で終わりました。

1 回の例会は副委員長の直井さんにお任せしました。テーマは「森林職員から見た高山の森林について」です。講師は直井さんと直井さんご紹介の飛騨高山森林組合の八賀係長さんです。直井さんには幼少の頃の遊び場としての山から、仕事として山に関わる現在をテーマにお話いただきました。八賀さんには、間伐や今後の山の行方等々職員として話をさせていただきました。

**国際奉仕委員長****道下 利一（代理）谷口 欣也**

今年度国際奉仕委員会は、道下利一委員長、中田一男副委員長、伊藤正隆委員の 3 名で活動し、基本方針は、「グローバル補助金事業を視野に入れ、実現に向けた活動を行う」として、例会を一回担当しました。支出は予算通りで、



例会における卓話の謝礼 5 千円と「飛騨高山国際協会」年会費 2 万円の計 2 万 5 千円でした。例会は、当初 2 月 26 日に担当する予定でしたが、講師の関係で 10 月 23 日に変更になりました。講師は「ビルメロの会」広瀬英一郎理事長で、この日高山を訪れていたお母様とミャンマー人でビルメロの会のミヤタウエーさん、ミヤマモーターさん、ピュピュアウンさんにもご参加いただきました。まず初めに、ビルメロの会 会員の清水幸平さんから参加者をご紹介いただき、続いて広瀬理事長からビルメロの会の活動詳細やミャンマーの現状について、映像を使ってご説明いただきました。続いてミャンマーの 3 名からビルメロの会の活動を通して得たことや将来の目標について発表していただきました。

この例会の後、ミャンマーを再訪した際に広瀬理事長がお声がけいただいたヤンゴン中央ロータリークラブから中

田会長宛にEメールが届きましたが、翻訳ソフトを使っても意味がわかる翻訳が出来ず、未だ返信出来ない状況なので、次期関係者の皆様にはどうぞよろしくお願いいたしません。

ロータリー財団委員長

岡崎 壮男

ロータリー財団委員会は、海老沢さんと前越さんと岡崎の3名で、「ロータリー財団の活動の理解をしよう」という基本方針のもと、平成29年10月23日には、「第2回ロータリー財団研修セミナー」へ出席された高原清人さんにロータリー財団補助金について卓話をしていただき、その後、岡崎より地区補助金について説明させていただきました。次に平成30年2月26日には、昨年8月に続きポリオ根絶活動を理解していただくため、今井さんに作成していただいたビデオを見ていただき、前越さんに感想を述べてもらいました。

ロータリー財団への寄付並びにポリオ募金へご協力いただき有難うございました。また、1年間当委員会活動にご協力くださり重ねてお礼申し上げます。



米山記念奨学委員長

永井 信次

副委員長に高原さんと、委員の村瀬さんの3名で向かいました。基本方針として、「事業内容について理解を深める」。2つ目に、「当クラブより地区委員長を輩出するに伴い、好意と友情の心で寄付金の増額を目指す」ということで向かいました。

活動報告としては、8月に米山記念奨学地区委員長と奨学生の卓話を頂き予算を使わせてもらいました。また、10月は強化月間ということで、会員の皆さまに寄付を依頼しました。来年、米山記念奨学会が100年を迎えるとおもいます。おそらく、来年の委員長さんは強力に皆さんに協力をお願いをされると思いますが、今年以上の協力をお願いして終わります。ありがとうございました。



<米山記念奨学部門> 委員長 村瀬 祐治

米山記念奨学生のレバンチさんが、これから3月まで毎月お邪魔します。10時何分に高山に着きますので、会員の皆さんには、出来れば例会30分前に会場に来て頂き、彼と話すことで、情報交換をして頂くことで、この事業がさらに良い方向に向かうと思いますのでよろしくお願い致します。



益田清風高校インターアクトクラブの共同スポンサークラブとして、6月16日（日）に行われました「夏のアジア・アフリカ救援衣料回収・募金活動 東日本大震災援助物資回収活動」に参加してきました。



<ニコニコBOX>

初めて訪問いたしました。高山でメーキャップ出来る事を嬉しく思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。スキー・グルメの節はお世話になりました。ありがとうございました。 大阪船場RC 甚田 隆康 様

高山商工会議所青年部会（高山 YEG）は今年10月19日・20日に当会ブロック大会飛騨高山大会を開催いたします。私は大会会長として登録目標1500名を達成するため、高山 YEG メンバーと共にキャラバン等で37単会+αに行くため、7月以降高山不在が多くなり例会を欠席することもありますがお許し下さい。また、協賛金のお願いにメンバーが行きますがよろしくお願い致します。 井ノ下 雄志

今月は、結婚記念日と誕生日にお祝いを頂きありがとうございました。一人で楽しくお祝いさせて頂きました。

田中 雅昭

自民党トップはうそつきの始まり・・・やめられない・止まらない・・・かっぱえびせん。雨にも負けず、風にも負けず、東西南北何を言われようと誰からも忖度される人間に私はなりたい。

鷲塚 英雄

最後のお願いに参りました。ニコニコのご協力よろしくお願い致します。

周 信夫

本日、早退させて頂きます。 久々野 国良 中田 学